

平成30年度 第1回まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

○ 日 時

平成30年6月29日（金）午後2～4時

○ 会 場

諏訪市役所 3階 第1委員会室

○ 出席者

<まち・ひと・しごと創生有識者会議委員>

中嶋博美委員、岩波寿亮委員、今井高志委員、茅野昭一委員、酒井裕子委員、倉田紀子委員、山科光一委員、宮坂哲也委員、山崎三千代委員、宮坂高穂委員、佐久秀幸委員、金子ゆかり委員

<まち・ひと・しごと創生本部>

平林副市長、木島企画部長

<地方創生交付金事業担当課>

金子商工課長兼産業連携推進室長、茅野工業振興係主任、飯田産業連携推進係長

細野観光課長、内田観光政策担当係長、小林生涯学習課長、小口博物館長、宮阪健康推進課長、森健康予防係長、藤森健康予防係主査、柿澤地域戦略・男女共同参画課長、濱地域支援係長

<事務局>

前田企画政策課長、中澤企画政策係長、牛山企画政策係主査、西澤企画政策係主事

○ 欠席者

宮坂友子委員、牛山久仁彦委員、宮坂通世委員

○ 会議概要

1 開会

(木島企画部長)

- ・平成30年度の第1回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。
- ・会議開催に先立ち、人事異動等により委員の交代があったため、新委員へ金子市長より委嘱状を交付させていただく。

2 委嘱状交付

※金子市長より委嘱状交付

(木島企画部長)

- ・新たにお引き受けいただいた委員もいらっしゃるので、改めて委員の皆様にご挨拶をお願いしたい。

※委員自己紹介

3 市長挨拶

(金子市長)

- ・本日はお忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。委員各位にご協力いただき、平成 27 年 12 月に決定した諏訪市版総合戦略に基づき、平成 30 年度においても様々な施策を展開している。
- ・総合戦略の特徴は KPI（重要業績評価指標）を設定し、施策の達成状況を目に見える形で示すこととともに、外部有識者の皆さんから意見をいただき、総合戦略や事業の効果を検証することにある。
- ・平成 29 年度は、国から交付された「地方創生推進交付金」、「地方創生拠点整備交付金」、同じく内閣府の補助事業である「結婚新生活支援事業」を活用して、様々な事業を実施した。地方創生に対して効果があったかどうか、行政だけでなく、外部有識者の皆さんからもご意見をお伺いすることで、客観的な効果検証を行う。
- ・それぞれのお立場で忌憚のないご意見をいただき、さらなる事業のブラッシュアップにつなげていきたい。どうぞよろしくご意見申し上げます。

4 報告事項

(金子会長)

- ・報告事項に先立ち、定足数の確認について事務局よりお願いしたい。

(西澤企画政策係主事)

- ・有識者会議の委員数 15 名のうち、本日出席の委員は 12 名となり、半数以上の出席であることから定足数に達していることを報告する。

(1) 直近の人口動態について

(金子会長)

- ・それでは、「(1) 直近の人口動態について」、事務局より説明をお願いしたい。

(西澤企画政策係主事)

※資料No.1 に基づき説明

(金子会長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(G委員)

- ・p6 諏訪市の転入・転出の状況（年齢別）を見て注目したのは、5～9 歳と 10～14 歳が平成 28 年と比較すると減少が少ない、下げ止まりになっている。30～34 歳、35～39 歳も同様に平成 28 年に比較すると下げ止まりになっている。30～34 歳については、社会増になっている。そういった点がまちひとしごと創生総合戦略の効き目が出てきているのではないかと、評価ができるのではないかと考える。
- ・私の授業の中で将来どこの町に住みたいかというアンケートを取った結果、大学 1 年生の学生たちは、ふるさとに戻りたいと回答する学生が非常に多かった。ふるさとという認識を持てるのが、本人として記憶が維持できている年齢である 5～14 歳くらいまでの卒ではないか。0～4 歳だと本人の記憶がほとんどない。また、高校になると、大学 1 年生にとっては、ふるさとと言えるほどの過去のことでない。

- ・そう考えると、小・中学校時代にどこで過ごしたのかということが将来的に非常に重要になる。彼らが将来住みたいまちとして選んでくるのが、5～14歳を過ごしたところだろうということが考えられる。なので、ここが下げ止まりになってきているというのが、長いスパンで見たときに非常に効果があるのではないか。
- ・30～39歳の女性人口が昨年よりだいぶ持ち直しているという点が、長いスパンで見たときに、出産してくれるのかは本人次第だが、人口が持ち直す可能性が出てきているのではないか。

(金子会長)

- ・ありがとうございます。ご指摘いただいた点、長いスパンで参考にさせていただく。5～9歳、30～39歳は親子かと判断できる。家族で住み続けてもらうことが重要である。

5 協議事項

(1) 地方創生交付金事業の効果検証の概要について

(金子会長)

- ・次に協議事項に移りたい。協議事項「(1) 地方創生交付金事業の効果検証の概要について」、事務局より説明をお願いしたい。

(中澤企画政策係長)

※資料No.2に基づき説明

【参 考】

<事業効果>

- ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった

<今後の方針>

- ①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し（改善）
- ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業を終了

(2) 地方創生交付金事業の効果検証について

(3) 結婚新生活支援事業の効果検証について

(金子会長)

- ・協議事項「(2) 地方創生交付金事業の効果検証について」「(3) 結婚新生活支援事業の効果検証について」合わせて進める。
- ・事前に担当課による事業効果検証結果をお送りし、各委員により効果検証を行っていただいた。本日、お手元に各委員による効果検証の結果を取りまとめた追加資料②を配布している。
- ・質問等もいただいたので、それに対する回答をとりまとめたものを追加資料①として配布している。合わせてご覧ください。

<地方創生交付金事業>

○事業No.1「諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」

(金子会長)

- ・商工課の事業No.1「諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(金子商工課長)

※資料No.3に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。
⇒意見なし

(金子会長)

※追加資料②に基づき、各委員の効果検証の取りまとめ結果について説明。

- ・事業No.1「諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」について、「事業効果」は「②」、「今後の方向性」は「③」となっている。効果検証に対する意見があれば伺いたい。
- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.1「諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」

「事業効果」：② 「今後の方針」：③

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

○事業No.2「SUWA クリエイティブシティ化戦略事業」

(金子会長)

- ・産業連携推進室の事業No.2「SUWA クリエイティブシティ化戦略事業」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(金子産業連携推進室長)

(飯田産業連携推進係長)

※資料No.3に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。
⇒意見なし

(金子会長)

※追加資料②に基づき、各委員の効果検証の取りまとめ結果について説明。

- ・事業No.2「SUWA クリエイティブシティ化戦略事業」について、「事業効果」は「②」、「今後の方向性」は「③」となっている。効果検証に対する意見があれば伺いたい。

(K委員)

- ・事業効果について「③」でいいのではないかと考えていたが、説明を聞いて「①」でもいいと意見が変わった。この機会に検証結果について改めて議論してもいいのでは。

(金子会長)

- ・ありがとうございました。当然事前に評価していただいたのが確定ではない。この場で評価変われば、ご発言いただきたい。

(G委員)

- ・もともと事業効果は「①」とさせていただいた。目標値の設定が非常に難しいジャンルということもあるが、先ほどガラスの里の売り上げ等から初期の目標値を設定したということで、何も客観的な資料がないところから目標値を設定したわけではなく、一定の客観的な資料から目標値を設定し、それをかなり上回る効果が得られているということなので、「①」と十分評価できると考える。

(I委員)

- ・質問だが、平成 29 年度実績額と平成 30 年度予算額が記載されているが、平成 30 年度の予算額は、もうすでに決まっているのか。
- ・SUWAプレミアム売上額は実績値が 16,360 千円となっているが、平成 30 年度予算額が 24,256 千円となっている。費用に対する効果としてどの程度生産的だったのか。平成 29 年度の実績額よりも平成 30 年度の予算額が減っているが、内容が知りたい。

(飯田産業連携推進係長)

- ・平成 30 年度の予算額が平成 29 年度の実績額よりも減っていることに関しては、地方創生推進交付金の申請どおり、ソフト事業は平成 29 年度が一番手厚くなっているためである。
- ・費用対効果については、売上が赤字かどうかという点が大きな目安となる。SUWAプレミアムは、平成 26 年 7 月にショップがオープンし、1,000 千円の売上からスタートしている。年々売上は伸びており、平成 29 年度は 16,360 千円となった。現在は黒字となっている。今後についても、黒字分を伸ばしていきたい。

(金子会長)

- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.2 「SUWA クリエイティブシティ化戦略事業」

「事業効果」：② 「今後の方針」：③

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

○事業No.3 「『諏訪の国』ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業」

(金子会長)

- ・観光課の事業No.3 「『諏訪の国』ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(細野観光課長)

※資料No.3に基づき説明

(金子会長)

・質問、意見があれば伺いたい。

(D委員)

- ・諏訪圏青年会議所も昨日、みんなでつくる「諏訪の国」ということで事業を実施した。地元への認知を向上させる事業かと言われると微妙。その辺はもっときちんとやるべきと感じた。
- ・今後の予定を「③」と書いたが、「①」だと思った。たとえば、平成30年度の予算は変えられる余地があるのか。

(細野観光課長)

- ・本事業の予算については、平成29～31年度ということですのですでに認めていただいているところ。平成29年度については、6市町村で20,000千円、本年度については、27,000千円ということで、7,000千円増の中で進めている。基本的には、国に認められた額で3年間推進していきたい。

(D委員)

- ・その場合、「①追加等更に発展させる」やり方としては何か方法があるのか。

(細野観光課長)

- ・事業内容を検討する中で、変更申請等が可能かというところ。

(D委員)

- ・もっと発展させられればいい。

(金子会長)

※追加資料②に基づき、各委員の効果検証の取りまとめ結果について説明。

- ・事業No.3『諏訪の国』ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業』について、「事業効果」は「③」、「今後の方向性」は「①」となっている。効果検証に対する意見があれば伺いたい。
- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.3「『諏訪の国』ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業」

「事業効果」：③ 「今後の方針」：①

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

○事業No.4「歴史・文化の学びを支える博物館整備事業」

(金子会長)

- ・生涯学習課の事業No.4「歴史・文化の学びを支える博物館整備事業」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(小林生涯学習課長)

※資料No.3に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(M委員)

- ・大昔情報センターがオープンすることについて、大変嬉しく思ったのは、観光にも関わっている点である。大昔情報センターの中で、おもしろいという部分と、感動・感銘を受ける部分と工夫していただければ、「諏訪の国」の中心的な拠点になるのではないかと。その点については、この事業に期待をしている一人であるということ強調しておきたい。

(金子会長)

※追加資料②に基づき、各委員の効果検証の取りまとめ結果について説明。

- ・事業No.4「歴史・文化の学びを支える博物館整備事業」について、「事業効果」は「③」、「今後の方向性」は「③」となっている。効果検証に対する意見があれば伺いたい。

(D委員)

- ・どう評価していいのかわからない。K P Iをもとに判断するのではないのか。今年度から始まる事業であると分かっているので、そもそも無理に評価する必要があるのか。

(前田企画政策課長)

- ・今までやってきたソフト事業ではなくて、拠点整備のための交付金ということで、K P Iも設定し数字も出してはいるが、実際は整備が主な事業である。評価が難しいところではあるが、国に報告する上で検証・評価しなくてはならない。
- ・D委員の言う通り本来ならばK P Iに基づいてどういう事業であったか判断しなくてはならないが、昨年度の事業については、この拠点を作ったということ自体が事業であったため、今後どのように推移していくかを見ていくということでご了承いただきたい。

(金子会長)

- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.4「歴史・文化の学びを支える博物館整備事業」

「事業効果」：③ 「今後の方針」：③

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

○事業No.5「スポーツ・健康・観光複合拠点『すわっこランド』整備事業」

(金子会長)

- ・健康推進課の事業No.5「スポーツ・健康・観光複合拠点『すわっこランド』整備事業」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(宮阪健康推進課長)

※資料No.3に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。
⇒質問なし。

(金子会長)

※追加資料②に基づき、各委員の効果検証の取りまとめ結果について説明。

- ・事業No.5「スポーツ・健康・観光複合拠点『すわっこランド』整備事業」について、「事業効果」は「②」「③」が拮抗しており、「今後の方向性」は「③」となっている。効果検証に対する意見があれば伺いたい。

(K委員)

- ・質問ですが、スポーツ・健康・観光複合拠点となっているが、観光客向けの施設として利用しているのか。観光客はどの程度利用しているのか。

(宮阪健康推進課長)

- ・すわっこランドの利用形態について、利用者の半分が市内の方である。残りの半分については、近隣市町村の住民、宿泊の観光客の方に利用いただいている。事業を行ってからは、詳細にアンケートをとったわけではないが、近隣の方は回数券や定期券をご利用いただくが、1回券の利用が増えているという状況となっている。新しくなったということで、観光客の方に多く利用いただけているのではないかと考える。

(金子会長)

- ・事業効果に対する評価が「②」「③」で拮抗している。先ほどD委員からK P Iの数字に対する判断という意見があったように、K P Iを上回ることができていないということも考慮し、「③」にしてはどうか。

(M委員)

- ・水泳協会の競技等、この地域ではすわっこランドのプールしか開催できるところがない。選手や応援しに来た家族等もすわっこランドを使うことが多い。観客席を作り、大々的に大きな大会を誘致するということもあるが、今の段階でも公式記録を取ることができ、関係者がプールに来て中の施設を利用することも大変多いため、事業効果「③」今後の方針「③」は妥当である。

(金子会長)

- ・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.5「スポーツ・健康・観光複合拠点『すわっこランド』整備事業」

「事業効果」：③ 「今後の方針」：③

⇒異議なし

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

<結婚新生活支援事業>

○事業No.1「諏訪市新婚新生活住まい補助金」

(金子会長)

- ・地域戦略・男女共同課の事業No.1「諏訪市新婚新生活住まいる補助金」について、効果検証を行いたい。まず、担当課より「事業概要」、「事業効果」及び「今後の方向性」について説明したい。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

※資料No.3に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(G委員)

- ・今後の方針について、「より経済的負担の軽減につなげるために補助金上限の引き上げが期待されている」と記載されているが、国に補助金の増額を求めるという事か、それとも市単独で上乗せを考えているのか。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

- ・国の制度は変わらないので、今年度より市単独で転入を伴った場合は増額ということで拡充をしていくところ。

(G委員)

- ・すでに実施されているのか。「期待されている」とのことだったが、現実的には今年度からスタートしているということか。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

- ・平成29年度の段階で記載しているため「期待」となっているが、平成30年度から新たに拡充し4月から実施している。

(G委員)

- ・住まいる補助金だけでない新婚家庭への補助内容が追加されてもいいのではないかという意見もある。補助金の上限額を上げるより対象となる方を広げたいかがか。低所得者層だけでなく、所得のある方であっても諏訪市に引っ越してきていただけるように、諏訪市で結婚していただけるように、補助金の額を上げるというよりは、対象となるようなところを、上限額を上げていくということが重要なのではと思うが、そういったことは検討しているのか。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

- ・本制度は国の制度を活用して実施しており、国の制度に沿って、踏襲しているところが強く、単独の部分若干上乗せしている。今後、低所得者に限らず幅広い所得世帯を考えていかなければならないため、次年度以降参考にさせていただく。

(金子会長)

※追加資料②に基づき、各委員の効果検証の取りまとめ結果について説明。

- ・事業No.1「諏訪市新婚新生活住まいる補助金」について、「事業効果」は「②」「③」が拮抗しており、「今後の方向性」は「②」となっている。効果検証に対する意見があれば伺いたい。

(K委員)

- ・事業効果については「③」でいいのでは。G委員が思っていたことをすべて仰ってくれたが、結婚するためのお金よりも、諏訪に、たとえばアパートに住んでいて、家を建てるま

での速度を早くしてあげたらいいのではないかと思います。そこにお金を出してあげることで、諏訪で結婚してアパートに住んでいたのだけど、そこで家を建てるとお金がもらえるといったような、見えてわかりやすい、そんなお金の使い方をしていただきたい。結婚する側にもっとわかりやすいものが欲しい。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

・仰る内容、庁内様々な担当課と検討していきたいと考えている。

(金子会長)

・冒頭に5~9歳、30~39歳の定住につながってきたとの効果もあったわけですが、直接は関係ないかもしれないが、諏訪市に住んでもらう、転入を伴ってきているという効果も含めて、現在事業効果は「②」5人、「③」6人となっているが、評価を上げてもいいのでは。

(F委員)

・そもそもこの結婚新生活支援事業の目的は何なのか。それによって事業効果について議論できるのではないか。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

・先ほど説明した内容そのものが国の制度設計にも入っており、引用しているところである。

(F委員)

・そうすると、移住も目標に入っているのか。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

・市内在住の方も、転入して入ってくる方も、両方の側面から考えている。

(F委員)

・単純にこのタイトルからして、人口減少対策ということなので、結婚してもらって、希望のある方にはお子さんを持っていただくというための事業と思ったので、移住がどの程度この事業の目的となっているのか不明確だった。

・判断理由を見ると、「諏訪市内に居住するか迷っていたが、補助金があったので、諏訪市に居住することにした」が実際は1件だけで、他は「もともと諏訪市に居住するつもりだった」とあるため、積極的な評価はせずに事業効果「③」とした。

・KPIの立て方で、予算が10件ならば、目標は10件とするのではないか。予算は10件だが、8割の達成見込みで目標値を80%とし、それでKPI100%達成となるのは、素直な設定の仕方ではない。KPIの達成100%としても、予算からして80%の達成度かなとそういう評価をした。

(柿澤地域戦略・男女共同参画課長)

・当初予算の段階で、どの程度というのが読めないため10件という予算取りをした。本来ならばすべて執行というのが目標となるかと思うが、私共としては80%の方が使っていたら成功ではないかという判断をし、このような設定をした。

(金子会長)

・事業効果については、「②」か「③」で挙手を願いたい。

・有識者会議として、効果検証結果を以下のとおりとしたいがよろしいか。

事業No.1「諏訪市新婚新生活住まいる補助金」

「事業効果」：③ 「今後の方針」：②

⇒異議なし

(金子会長)

- ・慎重なご審議、ご協力をありがとうございました。

6 その他

(木島企画部長)

- ・慎重にご審議いただき、ありがとうございました。
- ・その他連絡事項について、事務局より報告したい。

(西澤企画政策係主事)

- ・平成 30 年末までに「諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた数値目標、KPI などの検証を行い、必要に応じて改訂を行う予定である。有識者会議委員の皆さんにはご協力をお願いしたい。

7 閉会

(山科副会長)

- ・本日はご多用中お集まりいただき、長時間活発にご審議いただき誠にありがとうございました。
- ・様々な交付金事業があるが、説明を聞く中で整理できた。事業についてしっかりと進められているなど評価している。
- ・地元のことを知っているかということをも自分自身も振り返り、行ったことないところもあり、行って体験しなければ、いいところを発見できないのではと改めて思う。
- ・「諏訪の国」もいろいろと広報活動されており、ポスターの出来も素晴らしく、今はロビーにも飾っているが、職員もそれまで見たことがなかったというのがもったいないと感じた。
- ・まずは地元のものを知った上で、諏訪のことを理解した上で、情報発信していくことが、地方創生やブランド力を上げるために重要なのではないかと。
- ・ますますこういった事業に期待している。本日はありがとうございました。